

# 野間地域づくり計画書



## 狭野間



平成25年6月

野間連合区

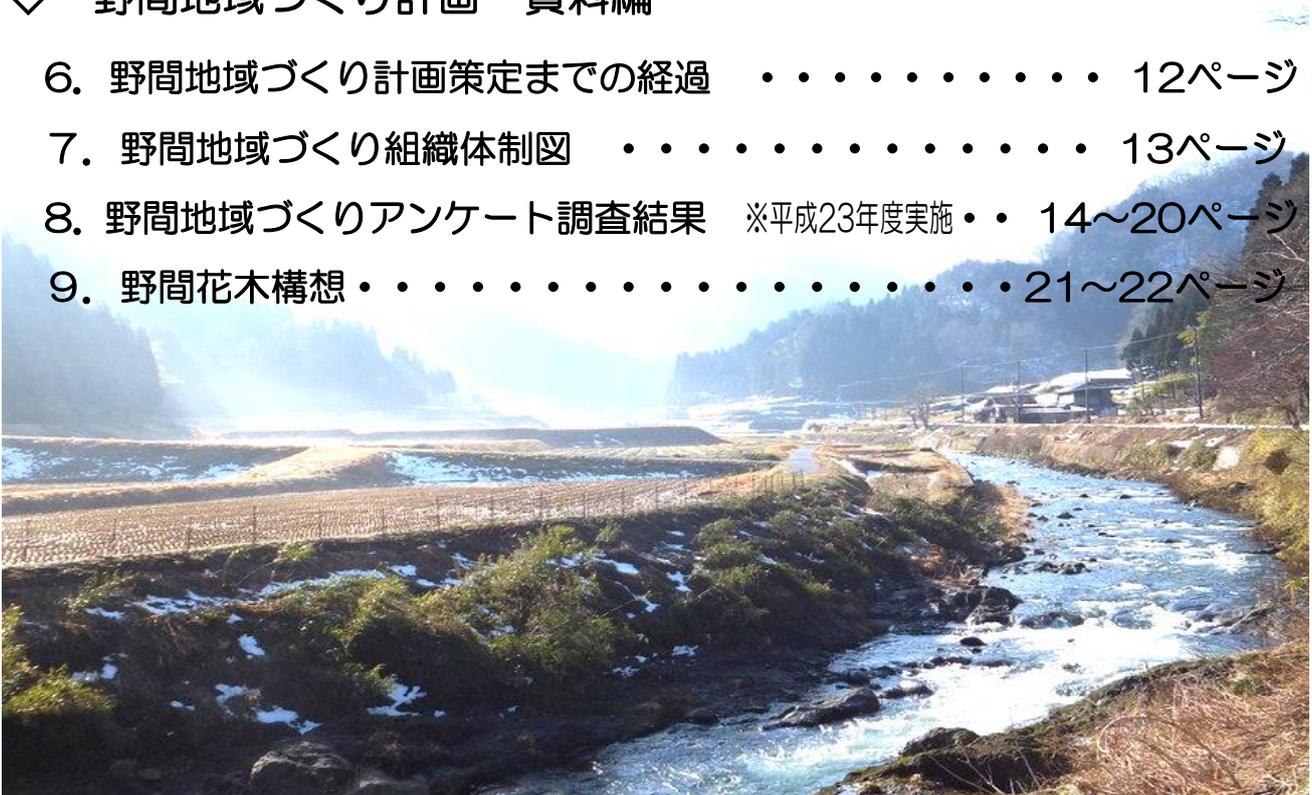


◇ 野間地域づくり計画

1. 現状と課題	1~2ページ
野間地域各区紹介	3ページ
2. 目指す地域のビジョン	4ページ
3. 「ビジョン」に向けた目的・目標	4ページ
A 収入の確保	5ページ
B 人口の確保	5ページ
C 生活環境の改善	6ページ
4. 各区の課題と要望	7~10ページ
5. 野間地域づくりの年次計画	11ページ

◇ 野間地域づくり計画 資料編

6. 野間地域づくり計画策定までの経過	12ページ
7. 野間地域づくり組織体制図	13ページ
8. 野間地域づくりアンケート調査結果 ※平成23年度実施	14~20ページ
9. 野間花木構想	21~22ページ



【野間基幹集落センターから霞方面を撮影】

# 1. 現状と課題



野間地域は、丹後半島の中央部に位置し、林野率は90%に近く、耕地に至ってはわずか2%程度の山間部である。冬季は積雪が多く孤立する地域もあるが、野間川の水は豊かで寒暖差も大きいこともあり、米作りに適した地域である。本地域は、中山区、田中区、中津区、野中区、吉野区、来見谷区、霞区、須川区、大谷区、味土野区の10行政区で構成され、実質85世帯、190人が生

活している。高齢化率は62%、独居世帯は32%となり、全体が限界集落となった。

野間地域を支えてきた養蚕、薪炭、農業などは、今ではほとんど姿を消し、わずかに高齢者が米を生産している程度で、ほとんどの若者は野間地域から離れ、居住する数少ない若者も他地区での就業である。

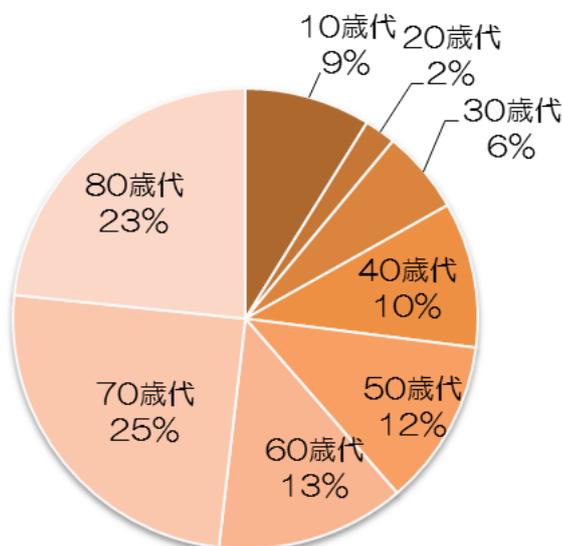
公共機関としては、野間小学校（生徒数5人）があるが1年後には廃校が決まっている。金融機関は野間郵便局があるのみ。日用品・食料を販売する商店は一軒も無く、診療所が週一回開所されているが、

車を運転できない高齢者にとっては、1日数本運行されている市営バスを利用する以外に手段が無い。

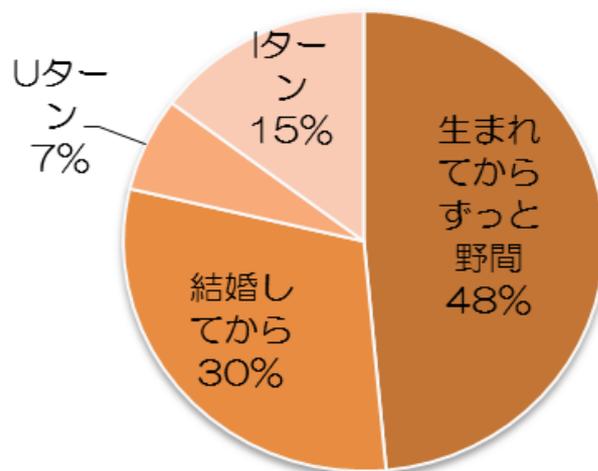
しかし全ての集落にバス停が設置されておらず、日々の買い物、通院などは困難である。

野間地域は、このままでは人口が減り続け、少子・高齢化が加速することは避けられない。産業は一層衰退し、所得は減り、兼業農家も減り、山や農地が荒れていく。今以上に自治活動、祭事、文化継承、里山保全活動などを取り組むことが困難になっていくことは必然であり、これは野間地域を共同体として持続させることが出来なくなることを意味する。

こういった現状を打開するために、同志社大学、京都建築大学校、京都府、京丹後市の協力を得る中で、野間連合区など自治会はもとより、野間活性化グループ・野間漁業協同



【年齢構成】



【住み始め】

組合・野間川を守る会・野間山菜出荷組合などが様々な取り組みを推進し、Iターン・Uターンがありました（現在、野間人口全体の22%）が、地域を支える若い担い手が決定的に不足している。地域の将来が見えないことに諦める者も増え、「先人が築いてきた野間」を維持することが難しい現状となっている。

野間地域の喫緊の課題は、野間の人・食・自然・伝統・文化・農地等「野間にあるもの」を生かした地域づくり、そして「暮らしてきてよかった」「暮らし続けられる」地域づくりである。そのための担い手を確保し育てることである。



【京丹後市から委託を受け味土野の除雪作業を行う野間連合区】

## 中山区 (なかやま)

昭和30年代、60人程の人口でしたが現在、6世帯12人です。野間地域への玄関口に当たる集落で、中山峠ともいわれ地域内にスノーシェルター2基を有しています。



## 味土野区 (みどの)

昭和30年代、ピーク時160人程の人口でしたが現在、3世帯5人は全て他からの移住者です。戦乱の世を強く生き抜いた細川ガラシャの隠せいの地です。



## 大谷区 (おおたに)

昭和30年代、60人程の人口でしたが現在、2世帯2人です。区内に豊富で良質な湧水が湧き、野間地域の水道原水やあまご等の養殖池に利用されています。



## 中津区 (なかつ)

昭和30年代、120人程の人口でしたが現在、12世帯32人です。野間地域内で一番標高の低い地区であり、延命寺の参道横斜面を桜公園として整備しています。



# 野間地域各区紹介

## 弥栄町野間連合区

野間基幹集落センター内  
(野間連合区長、事務員)

野間地域の各地区の連合機関として、地域内の円滑化を図り、相互扶助の精神の下、野間地域の発展と次世代への継承を図ることを目的として活動しています。

当地域は、高齢者の割合が2人に1人占め、今も人口の減少が続いていますが、さらに減少は進むと考えられ、文化祭、運動会や祭などの地域行事のほか、家周辺の雪かき、農地の草刈り、水路管理等の共同作業や農地管理が困難になります。

当地域を守り育てていくため、後継者不足や農林地の荒廃など地域の抱える課題を集中的かつ総合的に解決するため、当地区民の総意でこれらの課題に取り組んでいます。

活動の中心となるのは、野間連合区・区民・各種団体が構成する「地域連携組織 溪里野間(かわざとのま)」です。

## 来見谷区 (くるみだに)

昭和30年代、70人程の人口でしたが現在、9世帯17人です。3戸(8人)の市外移住者があり、内1戸が古民家を再生して農家民宿を営んでおり、また、区外住民が所有するコテージがあります。



## 田中区 (たなか)

昭和30年代、70人程の人口でしたが現在、10世帯16人です。区内の白滝ほ場を拠点に地域活性化や都市農村交流活動等に積極的に取り組み、「白滝プロジェクト」を展開中です。



## 須川区 (すがわ)

昭和30年代、100人程の人口でしたが現在、5世帯9人です。地区の奥地には須川溪谷を有し、近畿自然歩道の指定もあり、四季折々の自然観察を楽しむことが出来ます。



## 野中区 (のなか)

昭和30年代、200人程の人口でしたが現在、22世帯48人です。野間地域の中心地で小学校、郵便局、診療所、基幹集落センター等があり、野中橋付近のアジサイが美しい村です。



## 吉野区 (よしの)

昭和30年代、90人程の人口でしたが現在、14世帯33人です。スイス村へ上がる道の最終集落で、区内には地域住民が運営する特産品スイス村せんべいの製造所があります。



## 霰区 (あられ)

昭和30年代、80人程の人口でしたが現在、10世帯25人です。清滝山洞養寺境内には、金剛童子山(行者山)から移された役小角の木像が祀られています。



## 2. 目指す地域のビジョン

野間地域にある全ての資源と住民の力を活かし、「暮らしてきて良かった」といえる地域、そして「暮らし続けられる」地域を作り上げる。

## 3. 「ビジョン」に向けた目的・目標

課題を大きく3つ分け、目的をもって取り組んでいきます。

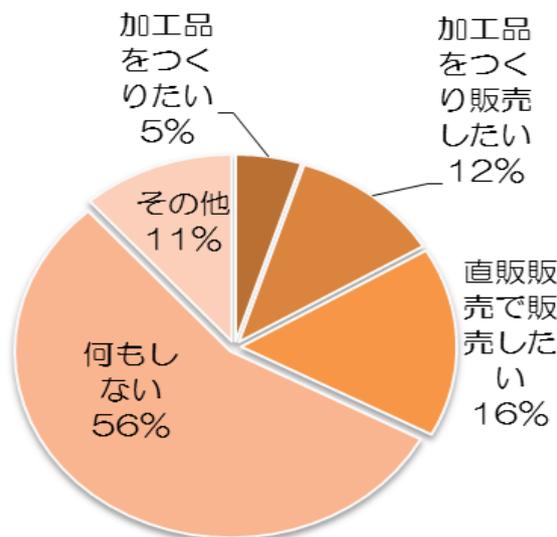
【課題】	【目的】	【取り組み】
<b>A 収入の確保</b>  地域資源を活かした事業で雇用の創出を図り、同時に高齢者の生きがいを作る。	観光事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史・自然観光</li> <li>● 遊びの学校（大人・子供）</li> <li>● 施設整備・管理</li> </ul>
	<b>B 人口の確保</b>  Uターン・Iターンなど新たな住民を迎える。	農林漁業  生産基盤  交流促進
<b>C 生活環境の改善</b>  個人・地域住民が支え合うと共に地域外部協力者や行政などと連携する。	移住支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サービス提供者の確保</li> <li>● 高齢者の見守り</li> <li>● 配食サービス</li> <li>● サロン開設</li> </ul>
	住居の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自主防災体制</li> <li>● ふるさとレスキュー</li> </ul>
	福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉バスの運行</li> <li>● 乗らへんカー運動の推進</li> <li>● 直売所</li> </ul>
	防災	
	交通	
	物資の供給	

## A 収入の確保

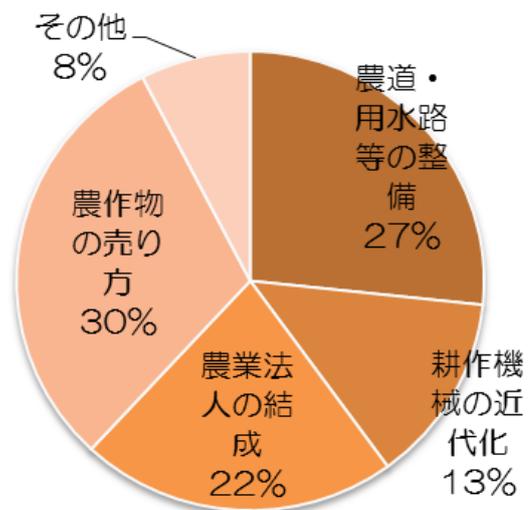
野間地域は、かつて養蚕、薪炭供給、米の生産が盛んでしたが、日本の産業構造の変化等により、若者が流出し高齢化が極限まで進行した現在、全ての生産性が低下し当然のことながら所得も大幅に減少している。後継者もいない中で大切な耕地が荒れていくのを嘆くだけである。

野間で生産されたもの、野間の自然が育ててくれた資源(山菜、蕎麦など)をそのまま販売するのではなく、それを原材料とする加工品を開発・商品化し、特産品として付加価値をつけて販売し、利益率を高めることが求められている。

また、新たな野間地区の拠点ともなる、商品の開発・販売・加工などをする場所、野間を味わってもらえるような場所が必要である。そして同志社大など他組織団体との提携も強め、新たな販路を開拓する必要がある。



【農産物の活用】



【農業を活性化するには】

## B 人口の確保

野間で育った若者たちは、進学等をきっかけに野間地域を離れ、就職先が無いなどの理由で帰ることが出来ない。この若者たちが帰ることが出来るような条件整備をすることが求められている。(Uターン) また、都市部の人達と交流を図り、野間地域を理解していただき、新たな移住者を増やす努力が必要である。(Iターン) そして、独身者の配偶者探しも重要課題である。

新たな住民を迎えるに当たっては、生活拠点となる住居は必須。野間地域には家主不在の民家が多数あり、また朽ち崩れていく家屋も少なくない。利用できる空き家を発掘・整備し、双方の理解と協力で借家契約ができ、新住民に提供できるようにする必要がある。

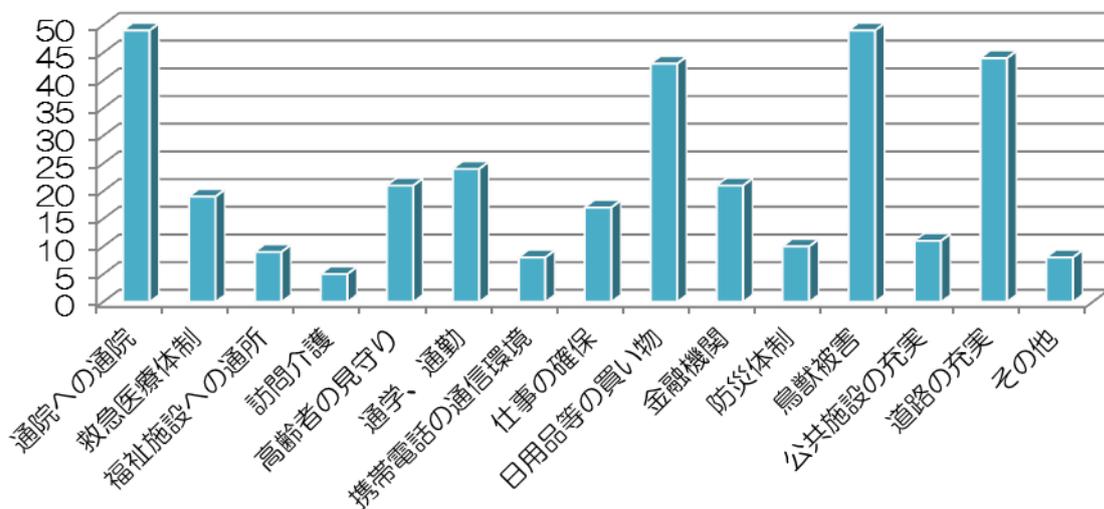
野間地域には、豊かな自然・多くの歴史・文化があり、住民の強い絆があります。しかし、高齢化・人口減少により、森林の整備・歴史遺産の整備等には手が付けられていないのが現状。豊かな自然は人の心に安らぎを与えるもので、現代の人々が一番求めているものではないか。野間地域の一番の魅力であるこの自然を守り、歴史文化を守り、それらを活かす努力が求められている。



【冬期間子供たちが寄宿生活を送っていた旧野間保育所施設。現在は“もんやこ”都市農村交流施設】

### C 生活環境の改善

高齢化の進行する野間地域では、病院への通院、高校への通学、日用品・食料品の買い物など、「足の確保」が重要な課題となっている。また1人暮らしの高齢者世帯をはじめ独居者も多く、日々の見守り・安否確認を兼ねた配食サービスなども検討する必要がある。住民の「安心・安全」確保のために野間ふるさとレスキューを発足させたが、最も大切なことは隣人としての絆・思いやり・支えあいの気持ちを持つことではないか。今後は、家族・公的機関・地域の三者がその役割を担い補完しあうシステムの構築も課題。



【生活するうえで改善してほしいこと】

#### 4. 各区の課題と要望

野間地域全体が抱える課題は当然各区の課題であるため、この項では、各区の課題を解決するための要望を列挙する。

区名	要望番号	優先順位	担当部署	区分	事業分野	要望内容	施工箇所(路線名等)	要望理由・詳細等
野間連合	2225003	建府1	建設部	府	河川	浚渫	田中・中津井堰、野中井堰下流	農業用水取水困難、ならびに、魚の生息容易にするため
野間連合	2322001	建1	建設部	市	河川	浚渫	宮川橋周辺	農業用水取水困難、ならびに、魚の生息容易にするため
野間連合	2422001	他1	市民部	市	集会施設	トイレ改修	野間基幹集落センター1階(男子トイレ)	和式トイレでは高齢者の使用に不便であり危険。
野間連合	2525001	他	市民部	市	交通	公共交通の確保	吉野、来見谷、須川	公共交通手段が確保されていない吉野、来見谷、須川に市営バスを運行させること。そして福祉タクシーのような有料であっても使いやすい交通手段の確保が急がれる。
野間連合	2525002	他	企画総務部	市	防災	緊急通報システム等の整備・充実	野間地域	独居世帯が多いことを踏まえ、緊急通報システム等を整備・充実(基準緩和を含む)させ、安心安全の確保、福祉の充実は急務である。ふるさとレスキュー、自主防災組織等の地域住民相互による互助システムへの支援を要望するもの。
野間連合	2525003	他	健康長寿福祉部	市	福祉	福祉サービス	野間地域	独居世帯が多いことを踏まえ、配食、保健士の巡回、ヘルパー等の公的サービスの充実を要望するもの。
野間連合	2525004	農	農林水産環境部	市	有害鳥獣	有害鳥獣駆除	野間地域内の有害鳥獣駆除	農作物が収穫前に荒らされ、大損害をうけており、イノシシ、川鶉などの駆除を要望するもの。
野間連合	2525005	他	企画総務部	市	過疎対策	過疎対策	野間地域内	男女の出会いの場(機会)を意図的に組織する施策、公的支援を要望するもの。
野間連合	2525006	農	農林水産環境部	市	農業用施設	農業用施設の改修整備	野間地域内	農地保全の為、農業用施設の改修、整備のための具体的な支援を要望するもの。
野間連合	2525007	農	農林水産環境部	市	バイオマス	環境バイオマス政策	野間地域内	自然資源である山(木材)と川(水)を活かしたエコエネルギー生産に着手する。エネルギーの地産地消を目指す中で、観光資源としても活かすことが可能ではないか。そして雇用、収入の確保も目指す。(バイオマス発電 小水力発電 森林セラピー 山林整備 燃料としての薪炭 その他)
野間連合	2525008	他	市民部	市	防災	UPS設置	野間基幹集落センター事務所	野間地域は、落雷、雪害、台風等災害において停電することが多く、事務所設置の電話が、電気使用の為、緊急時の通話ができない状態になることからUPS(無停電電源装置)を購入設置することの要望。
野間連合	2525009	他	市民部	市	集会施設	調理室排水施設修繕	野間基幹集落センター	調理室の水道排水施設が老朽化し、排水に支障が出ていることから早急な改修を要望するもの。
野間連合	2525010	他	市民部	市	観光・交通	案内看板設置	野間地域内	自然豊かな地域であって、ガラシャの碑などの遺跡やスイス村、風の学校など公共施設も多数あるにもかかわらず、観光案内看板が設置されていないことから、観光客が道に迷ったり、野間地域の良さが十分に伝わらないことから要望するもの。
野間連合	2525011	他	市民部	市	施設対策	備品購入	野間基幹集落センター備品	野間連合区のコミュニティ施設である野間基幹集落センターの備品について、経年劣化や故障による更新及びコミュニティ活動に必要なとされる備品購入。
中山	2115002	建1	建設部	市	河川	河川整備	小金山川(木村弘二宅前)	台風による大雨の家屋内流入防止の為、護岸を嵩上げ(L=27m)
中山	2415001	建府1	建設部	府	道路	水路改修	府道浜丹線横断管修繕	側溝への流出土砂が横断管に流れ詰まったもの(L=8m)
中山	2415002	建府2	建設部	府	道路	道路修繕	府道浜丹線横断道路修繕	道路破損がひどく、道路補修が望ましい。
中山	2515001	建		市	道路	道路改修	府道から集会所まで20m	

中津	1916002	建府 1	建設部	府	河川	浚渫	宇川 野中堰上流	野間川が増水のたび水路に土砂が入る。
中津	1916003	建 2	建設部	市	道路	中津橋改修	中津橋改修	老朽化が激しい L=50m、W=6m 塗装等の修繕をお願いしたい。
中津	1916006	農 2	農林水産環境部	市	林道	舗装	林道ガクガ谷線	大雨時に水路となり管理困難である。
中津	2416001	建 1	農林水産環境部	市	用水路	水路改修	野中橋下から城出間	老朽が激しく漏水が著しい。防災水路・生活水路にもなっている。里の基盤整備事業で45m実施、残り150mをお願いしたい。
中津	2416002	建府 4	建設部	府	道路	道路側溝改修	羽賀義昌宅から下流	23年度で周辺の側溝は改修されたが、要望の箇所が高く、土砂が堆積し水が淀んでいる。
中津	2416003	建府 3	建設部	府	道路	道路側溝改修	府道浜丹後線中津スノーシェルター中津側	府道浜丹後線の中津スノーシェルター工事現場両側斜面から土砂が流出することにより、側溝が埋まり、流量阻害を発生させ、道路面を水が流ることによって道路破損及び法面崩壊を引き起こす。
中津	2416004	建府 2	建設部	府	道路	道路側溝改修	府道井辺平線側溝	府道井辺平線 田中・中津公民館先、三本正樹宅前側溝が吸出しにて倒壊傾向にある。防火水路及び生活水路になっており、中津区において重要水路である。
田中	1917001	建 3	建設部	府	河川	残渣処分	宇川 田中橋上流の河川敷	工事残石の撤去 川幅が狭い。
田中	1917002	建 1	建設部	府	河川	浚渫	田中堰上流	田中伊根堰堤上流の浚渫 毎年土砂が堆積し、水深が浅くなり、水路の水量を確保するのが困難である。
田中	1917003	建 2	建設部	府	道路	橋梁安全調査	府道井辺平線 田中橋	橋梁安全調査 水害その他による崩落の危険あり。鉄筋の露出等。調査結果が出ているようであれば、連絡と対策を教えて欲しい。
田中	1917004	農 1	農林水産環境部	市	林道	舗装	林道白滝線	田中縦道より白滝耕地までの舗装 L=200m 現在林道となっているが、農道として頻繁に車が通行し道が悪くなり舗装が必要である。耕地から先の舗装。
田中	1917005	再要望	農林水産環境部	市	井堰(頭首工)	井堰の改修	田中区上流の井堰	井堰の整備及び改修 井堰の上部が崩壊しており、また法面が一部陥没している。
野中	1918002	再要望	農林水産環境部	府	用水路	暗渠改修	府道弥栄本庄線 野中(横住)藤原義正下	暗渠が詰まり民家の法面が崩れ危険。
野中	1918003	再要望	建設部	府	河川	浚渫	宇川 野中堰(橋)の上、下	堆積土の排除。 堆積土のため川床が上り、農業用水路管理困難。
野中	2118001	再要望	建設部	市	道路	道路改修	市道横住線(藤原実住宅手前)	一部路肩が崩壊していて危険。
野中	1918004	建 1	建設部	市	道路	道路改修	クロゼ線より水道使節までの道路モリ市道法面整備	積雪により崩落。農機具の通行に支障あり。
野中	1918005	建 3	建設部	市	道路	道路整備	クロゼ線より水道使節までの道路モリ市道舗装	市上水道の水槽まで舗装。
野中	1918006	建 4	建設部	市	道路	側溝改修	西村市道側溝	林道と市道の境に側溝がない為、市道へ水が流れ危険である。
野中	1918007	再要望	建設部	府	道路	拡幅	府道弥栄本庄線(山崎屋の先から宮川橋の手前まで)	自動車の交差が困難で危険である。
野中	1918008	再要望	建設部	府	道路	拡幅	府道浜丹後線(鹿喰宅前から大宮神社前まで)	交通量が多く交差が困難で危険である。

野中	1918009	建 2	建設部	市	その他	橋梁架替	小金橋	老朽化して橋脚に鉄筋が出ている部分あり。
野中	1918010	他 1	企画総務部	市	消防	防火水槽設置	横住地区	防火水槽設置を求めるもの。
野中	2218001	建 5	建設部	府	道路	道路改修	府道弥栄本庄線 (木村俊磨宅前)	冬季除雪後水が溢れ、住宅が床下浸水する為、改善対策の実施を要望するもの。
野中	2218002	再要望	建設部	府	道路	道路改修	カリヤ市道法面整備	路肩崩壊の恐れあり危険である。
野中	2418001	農 1	農林水産環境部	市	用水路	水路改修	モリ溝の補修	H23 年台風 2 号により崩落⇒横住川。 今年の積雪によりコンクリートに割れがみられる。
吉野	1919001	再要望	建設部	府	道路	道路修繕	弥栄本庄線	アクセ・スゲ町 2 箇所の道路修繕。
吉野	1919002	再要望	農林水産環境部	市	井堰(頭首工)	砂防井堰の改修	一ツ町農道上	砂防井堰の点検補修 砂防堰堤の排水路から砂が流れ出し、用水路に流れ込み、土砂撤去が大変である。
吉野	1919003	再要望	市民部	市	集会施設	施設修繕	吉野集会施設	2F トイレの換気扇修理。
吉野	2019001	再要望	農林水産環境部	市	換地	圃場整備地域	圃場整備(吉野区)	昭和 60 年から平成 4 年にかけて実施した圃場整備地域が未換地であり早急に換地処理をお願いしたい。 (地元負担金については旧町の時に地元から徴収しないことが約束されている)
吉野	2019002	建 1	建設部	市	河川	河川護岸崩壊	吉野川護岸(小字エゴ農地の下)	護岸が崩壊し農地の法面崩壊の恐れあり。
吉野	2219002	再要望	農林水産環境部	市	河川	河川護岸修繕	エコノ下カリ 6-2 横	大雨による土手の崩壊
吉野	2219003	建 2	建設部	市	河川	河川護岸修繕	エコノ下の井堰上	台風 23 号とその後の大雨により、山がえぐられており、杉の木が川に倒れそうになっている。L=20m 若しくは、杉の木の伐採
吉野	2219004	再要望	農林水産環境部	市	用水路	水路改修	棚田から下に流れる水路	大雨による水路下の崩壊
吉野	2319001	建 3	建設部	市	道路	土砂流出	吉野区下	大雨時、山より土砂の流出がある。
吉野	2319002	再要望	市民部	市	集会施設	施設修繕	吉野集会施設横	吉野集会施設横の U 字溝とブロックの取り付けコンクリートが割れている。
吉野	2319003	再要望	建設部	府	砂防	砂防堰堤土砂撤去	吉野区の砂防堰堤 6 ヲ所	砂防堰堤が土砂で一杯の為、下流への土砂流出が激しく、砂防堰堤の機能を果たしていない。
吉野	2420001	農 1	農林水産環境部	市	用水路	水路修繕	宮の上水路	積雪により、水路を含む法面が崩れ、原材料、機械借上により修理した箇所が再度崩落。
吉野	2420002	農 2	農林水産環境部	市	農道	農道法面修繕	ドウロクロ法面	H23 台風で崩れた法面の箇所が少しずつ広がっている。
吉野	2420003	農 3	農林水産環境部	市	用水路	水路修繕	柿中水路	積雪により U 字溝下の土が崩落。
霰	1920001	建 3	建設部	市	道路	市道復旧工事	霰地内在中線	路面陥没のため復旧。
霰	1920002	建 1	建設部	市	道路	市道改修工事	霰三船線	暗渠排水路老朽化のため崩壊。陥没しており復旧工事必要。
霰	1920003	再要望	建設部	府	河川	護岸工事	宇川 下チマタ久江康幸氏所有 水田下	降雨時及び増水時崩壊の恐れあり。
霰	1920004	再要望	建設部	市	河川	護岸工事	来見谷川 霰地内部分	災害により両護岸流出 L=50m
霰	1920005	農 1	農林水産環境部	市	砂防	土砂流出防止工事	京ヶ谷畑(須川 1049 番地)	大雨時上流の土砂が水田に入る L=10m W=6m H=2m
霰	2120001	建 2	建設部	市	道路	市道改良	クロゼ線(洞養寺橋～洞養寺)	コンクリート舗装にクラックが入り亀裂が大きくなり危険 L=70m

霞	2220001	再要望	建設部	市	河川	砂防堰堤補修	来見谷川上流 200m 堰堤	堰堤上部ブロックが6~7枚流出し、今後大雨時被害が大きくなり、間杉溝に通水不能となる。
須川	1921001	建 3	建設部	府	道路	岩ヶ鼻須川線	岩ヶ鼻須川線地内	村中の曲がり角等幅員が狭く危険である。
須川	1921002	再要望	建設部	府	河川	浚渫	宇川 須川地内	河川が荒廃し増水時に堤防を越える。
須川	1921003	建 4	建設部	府	砂防	砂防堰堤補修	野間川：須川地内小字カシリ	砂防堰堤の中央部決壊
須川	1921004	建 2	建設部	府	河川	堤防嵩上	須川村中 (金森鈴子宅下)	増水時に堤防が低い部分(約20m)あり作業場・民家が浸水する L=20m、W=2m
須川	2021001	再要望	建設部	府	道路	近畿遊歩道 遊歩道管理	岩ヶ鼻須川線遊歩道	近畿遊歩道でありながら荒廃・崩壊箇所も2箇所あり遊歩道の日常管理を
須川	2421002	建 1	農林水産環境部	市	河川	堰堤及び水路漏水補修	在中水路井堰及び水路i 修繕	H23年台風12号により井堰の一部が決壊した為、防火用水、農業用水の取り込み口の管理に支障が出る。 又、取込口より15m付近水路老朽にて水漏れ発生あり。
来見谷	1922001	建 2	建設部	市	道路	道路舗装	市道小金山道	小金山道未舗装分(溝を土砂がふさぎ、道路に水が流れる)。流水で路面が削られている。
来見谷	2022001	建 3	建設部	市	河川	河川浚渫	来見谷川	多量の土砂、災害による倒木等により大水時に被害発生の危険あり。
来見谷	1922005	再要望	建設部	市	災害復旧	道路側面の復旧	シル谷道入り口	
来見谷	2122001	建 1	建設部	市	排水路	市道側溝整備	市道小金山道 (飯島宅手前 10m)	現在は土側溝で、下流側溝に砂が溜まる
来見谷	2522001	建 1	建設部	市	道路	道路整備	市道小金山道 (飯島宅手前 10m)	山頂までの市道の道路整備を要望するもの。
大谷	1923001	建府 1	建設部	府	道路	府道拡張	府道浜丹後線	道路の拡幅を要望するもの。
味土野	1924001	建府 7	建設部	府	その他	雪崩防止工事	味土野大宮線	道路の雪崩防止工事
味土野	1924002	建府 6	建設部	府	道路	ガードレール交換	味土野大宮線	古いガードレールの交換 L=133m
味土野	2124001	建 1	建設部	市	道路	道路改良	市道味土野等楽寺線	味土野碑の手前の土管の回りが崩れ自動車の通行に支障をきたす
味土野	2324001	建府 2	建設部	府	道路	道路改修	府道味土野大宮線 出会から味土野に向けた先	路肩がくずれ、今後大雨により、車が通れなくなる恐れあり。緊急を要す。
味土野	2324002	建府 3	建設部	府	道路	道路改修	府道味土野大宮線 木下勇宅から大宮方面に向けた先	路肩が崩れており、危険。緊急を要す。
味土野	2324003	建府 4	建設部	府	道路	道路改修	府道味土野大宮線 味土野から大宮方面の畑に行く途中の府道	路面の侵食。緊急を要す。
味土野	2324004	建府 5	建設部	府	道路	道路改修	府道味土野大宮線 大谷出会～味土野集落まで	舗装路面がいたる所で激しく痛み、でこぼこになっている。冬期の除雪の祭、支障をきたす。
味土野	2424001	建府 1	農林水産環境部	府	河川	護岸工事	府道味土野大宮線 大谷出会手前	井堰、護岸改修
味土野	2524001	建府	建設部	府	道路	道路除雪	府道味土野大宮線 大谷出会手前	冬期間の除雪による生活道路の安全確保を要望するもの。

## 5. 野間地域づくりの年次計画

この計画書は平成25～29年度までの5カ年の計画書とし、京都府及び京丹後市の系統的な支援・指導のもと、計画の実現に向け取り組むための道標であり、野間地区・区民・及び支援者は、それぞれの役割を認識し、地域づくりを進める努力を続けていかなければならない。

以降に平成27年度までの3カ年の計画を示すが、3年目に計画の総点検を行い、残り2カ年を表記して5カ年の計画書とする。

### ◇ 地域資源を活かして

- ① 野間花木構想(詳細は資料参照)の実現を目指す。
  - ＞平成25年～27年の3ケ年計画…京都府地域力再生プロジェクト、京丹後市市民力活性化交付金事業などの支援を受けて実施。
  - ＞平成25年度…「彼岸花」公園・桜公園の整備 案内看板の作成。
  - ＞平成26年度…紅葉公園・蓮池の整備。
  - ＞平成27年度…山つつじ・福寿草園の整備。
- ② 加工場、販売所の整備。
  - ＞平成25年度…将来の配食サービス実施を見通して、加工場や調理場を京都府・京丹後市の支援を受けて整備に着手。
  - ＞平成26年度…集落センター横に販売所、休憩所などの機能を備えた東屋を整備する。

### ◇ 新たな住民を迎えるために

- ① 中山間地域等直接支払制度や農地・水環境保全事業などの制度を活用する中で、農地の荒廃化を防ぎ農地として本来の機能強化を図る。
  - ＞平成25年度…来見谷で実施中のUターン青年と移住者による休耕田復旧への支援と更なる拡大を図る。
- ② SNSを活用して情報発信を強化する。
  - ＞平成25年度…溪里野間のHPを充実させる。

### ◇ 住民が支えあう地域づくり

- ① 住民の意識の向上を図る
  - ＞平成25年度…福祉・防災懇談会を全地区で開催(既に5地区で開催)する。
- ② 独居世帯、高齢者世帯への見守りと支援を行う。
  - ＞平成25年度…福祉バスの充実。緊急時・災害時の対応を充実させる。(「ふるさとレスキュー」の充実)。
  - ＞平成26年度…配食サービスの実現に向け、検討を始める。

### ◇ その他

- ① 他地区や都市部住民との交流を図るイベントを開催する
  - ＞現在取り組んでいる事業は継続し新たな事業を計画する。